

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	卵巣成人型顆粒膜細胞腫の新規予後因子の探索		
1. 研究の目的と方法	卵巣顆粒膜細胞腫は稀な疾患であり、従来の形態学的な診断には限界があります。また、再発を予防する有効な治療法は同定されておらず、再発後の治療も手術以外は確立されていません。この診断に遺伝子解析を導入する事によって診断の精度を上げ、予後に関連する新たな因子や適切な治療法を確立する事を目的としております。		
2. 研究期間	承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関：■附属病院 ■葛飾医療センター ■第三病院 ■柏病院 対象となる方：卵巣顆粒膜細胞腫の患者さんで、上記研究機関で 1990 年 1 月 1 日～2019 年 3 月 31 日の間に治療を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	組織パラフィンブロック	
	(2) 試料の取得の方法	診療で使用し保管されている余剰試料	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、検査結果（血液検査、病理検査）、診療録（手術日、再発日、術式、併用療法）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	産婦人科講座 川畑絢子	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2019 年 7 月頃～		

【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究代表者：岡本愛光 電話：03-3433-1111（内線：3521） 東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 産婦人科 研究担当者 斎藤元章 電話：03-3603-2111（内線：5969） 東京慈恵会医科大学 第三病院 産婦人科 研究担当者 山田恭輔 電話：03-3480-1151（内線：3291） 東京慈恵会医科大学 柏病院 産婦人科 研究担当者 高野浩邦 電話：0471-64-1111（内線：3521） （対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）
------------------------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。